

it starts with iTero

# iTero Case library

臨床症例のシナリオ

NIRI技術の応用と  
診断支援としての有効性を示す臨床例



販売名: iTero エレメント  
一般的名称: デジタル印象採得装置 歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット 歯科診断用口腔内カメラ  
承認番号: 22900BZX00222000  
製造販売業者: インビザライン・ジャパン株式会社

align

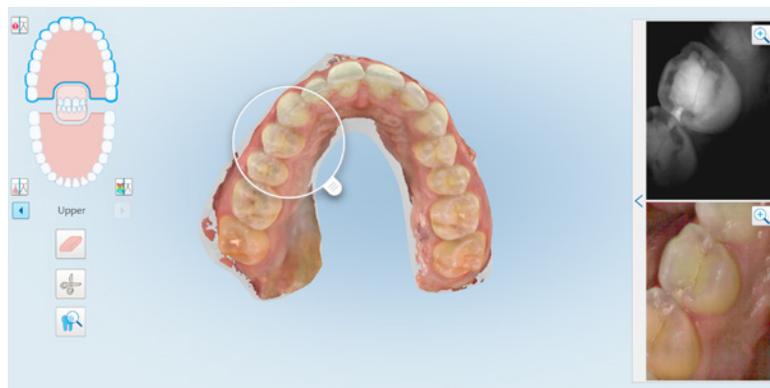
©2021 Align Technology, Inc. All rights reserved. Invisalign, Invisalign Go, ClinCheck, iTero, SmartForce, SmartTrackやViveraなどは、Align Technology, Inc.またはその子会社もしくは関連会社の商標および/またはサービスマークであり、米国および/またはその他の国において登録されています。

## 症例1

Dr. Olivier Boujenah, Paris, France

“この症例では、視診とレントゲンの両方で疑問を感じていましたが、NIRIの画像を見て、この歯牙の治療を進めていいことがはっきりしました。”

iTero エLEMENT5D



NIRI



象牙質に達しているUR5とUR4の隣接面う蝕

口腔内カメラ



レントゲン写真



重大な所見なし。

治療



歯科医師は治療を  
決断し、実際にう蝕  
の存在を確認。

## 症例2

Dr. Olivier Boujenah, Paris, France

“患者様をスキャンしてみると、NIRIの画像にう蝕がはっきりと写っていました。（このう蝕は、NIRIでなければ発見されなかったかもしれません。）NIRI技術は、う蝕の正確な位置、範囲、形状を特定するのにとても役立ちました。

iTero エLEMENT5D



NIRI



象牙質に達しているLR5の遠心の隣接面う蝕。

口腔内カメラ



レントゲン写真



重大な所見なし。

治療



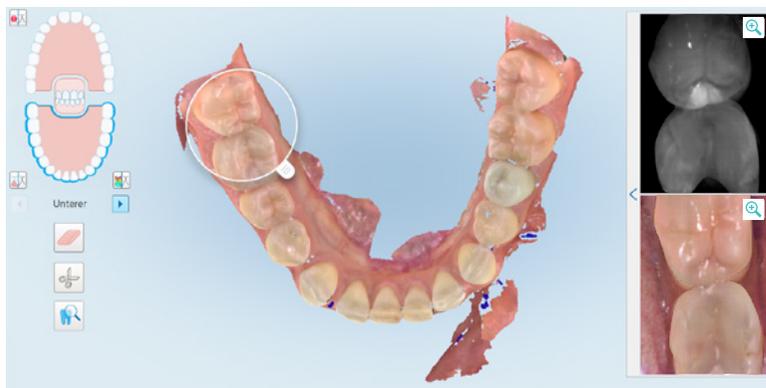
歯科医師は治療を  
決断し、実際にう蝕  
の存在を確認。

## 症例3

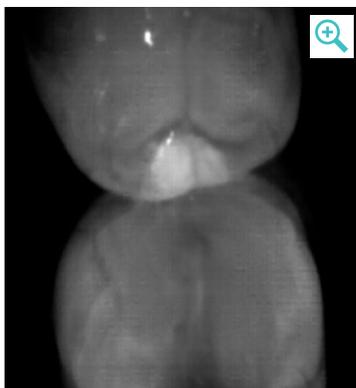
Dr. Ingo Baresel, Cadolzburg, Germany

“NIRI画像では、頂点が象牙質に向かっている明るい円錐形の病変があり、LR7の近心部にう蝕があることを示しています。また、この画像ではLR6の近心部に暗く不明瞭なところも見られるが、これは補綴修復物の存在を示しています。NIRI画像を参考にして罹患した歯質を除去し、補綴修復処置を行いました。”

iTero エLEMENT5D



NIRI



象牙質に達しているLR7の隣接面う蝕。

口腔内カメラ



レントゲン写真



咬翼法レントゲンでは、LR7の近心部にう蝕の存在。

治療



歯科医師は治療を判断し、実際にう蝕の存在を確認。

## 症例4

Dr. Ingo Baresel, Cadolzburg, Germany

“NIRI画像では、頂点が象牙質に向かっている2つの明るい円錐形の病変があり、う蝕の存在が示唆されます。このNIRI画像を参考にして、罹患した歯質を除去し、補綴修復処置を行いました。”

iTero エlement5D



NIRI



象牙質に達しているUL4の遠心部とUL5の近心部にある2つの隣接面う蝕。要治療。

口腔内カメラ



治療



歯科医師は治療を  
決断し、実際にう蝕  
の存在を確認。

## 症例5

Dr. Dana Colson, Toronto, Canada

“上顎左側第一小臼歯の遠心部と上顎左側第二小臼歯の近心部に明るいくさび形の領域を確認し、さらに上顎左側第二小臼歯遠心部に初期う蝕があることをNIRIで確認しました。咬翼法レントゲン写真を撮影したところ、3つの病変がエナメル象牙境 (DEJ) を超えて広がっていることが確認できました。NIRIでは、DEJに向かって進行する隣接面う蝕の存在が示されました (UL4とUL5)。第二小臼歯の遠心辺縁隆線に近い咬合面に灰色の影が見られることから、歯間脱灰の可能性が考えられます。”

iTero エLEMENT5D



NIRI



UL4とUL5に2つの隣接面う蝕。

口腔内カメラ



レントゲン写真



咬翼法レントゲンで2つの隣接面う蝕。